

# 【 2017男子世界選手権 】

2017年1月11日～1月29日

開催国 ・ 都市 フランス・ナント

## 試合結果報告 1 月 17 日 ( 火 )

JAPAN	VS	POLAND
<b>11</b>	前半	<b>9</b>
<b>14</b>	後半	<b>17</b>
	第一延長	
	第二延長	
<b>25</b>	合計	<b>26</b>

### 個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
5	高智		1	1
6	加藤	1	1	2
8	渡部	1		1
10	小室			0
12	木村			0
17	植垣	1	1	2
19	徳田	1	3	4
23	小塩			0
24	信太	3	6	9
25	元木		2	2
27	玉川	1		1
29	東江	3		3
30	成田			0
31	銘苅			0
32	土井			0
33	志水			0
	<b>合計</b>	11	14	25

### 試合結果

レフリー：デンマークペア

### 戦評

第25回男子世界選手権フランス大会4戦目は、ポーランドとの対戦。スタートの日本の布陣は、今までの試合と同様に、左サイド土井、右サイド渡部、左45'信太、右45'高智、センター植垣、ピヴォット加藤、DFは植垣に替わり成田、GKは木村でポーランドに挑む。前半立ち上がり日本は、エース信太のミドルシュート、加藤のポストシュートで連続得点を奪い好スタートを切る。ポーランドも開始4分過ぎようやく、NO26のサイドシュートで得点を上げるが、日本もDFで粘り強く守り、ポーランドのボールを奪い速攻に持ち込み、信太がスカイシュートを鮮やかに決め、日本が流れを掴むかに見えたが、OFでシュートミス、またチャージング等のミスを連続でし、またポーランドも攻撃のリズムが掴めず、なかなか両チーム共に流れを掴めないまま、10分3・2と両チーム共にロースコアの守り合いの時間が過ぎる。日本は、ポーランドのエースNO48に対し、ロングシュートを打たせないよう、またしっかりとピヴォットをマークしDFで機動力を發揮して守る。しかしOFでなかなか思うように得点を奪えず25分、7・8と逆転を許す。しかしポーランドもなかなか連続得点を奪えずリズムに乗れない。26分過ぎポーランドの退場をきっかけに日本は、徳田のミドルシュート、植垣のカットイン、信太の速攻、東江の7MTと前半終盤で4連続得点を奪い11・8と逆転、前半最後にポーランドに1点を返されたが、前半11・9の2点差とし、日本がこの大会初めてリードを奪い折り返す。後半、日本は両サイドを元木、小塩、そしてセンターDFに玉川を投入しスタートとする。後半は、ポーランドに先行されるものの、日本は信太がミドルシュートを連続で決め、一進一退の攻防が続くが、後半10分過ぎ、ポーランドNO33のミドルシュート、NO26、NO10と連続して速攻を決められ16・17とポーランドが逆転する。日本はタイムアウトを要求し立て直そうとするが、タイムアウト後の攻撃でミスをし、再び、NO6に速攻を決められ16・18の2点差に、それでもここで日本はエース信太が気迫のシュートで連続得点を奪い、ポーランドに流れを渡さない、残り10分、ここでポーランドエースのNO48にこの試合初得点を許し、19・22の3点差で最後の10分間に、日本も高智がこの試合初得点となるミドルシュートを決め、2点差にすかさずするが、ポーランドにも得点を許し、なかなか3点差が縮まらない、日本は勝負所と見て、52分04秒にタイムアウトをとり、3枚目のタイムを使い全ての指示を出し残り8分間に挑む。タイムアウト後、元木の速攻、加藤のポストシュートで再び1点差に。試合会場は多くの日本に対する応援で一気に盛り上がりを見せる。しかしポーランドも時間をかけ攻撃し、この試合5点目を上げたNO26のシュートで再び2点差に、最後は徳田がロングシュートを決め1点差にはしたが、ラストとなる攻撃で得点を奪えず、25・26の1点差で試合終了となる。

報告記入者：

田中茂